

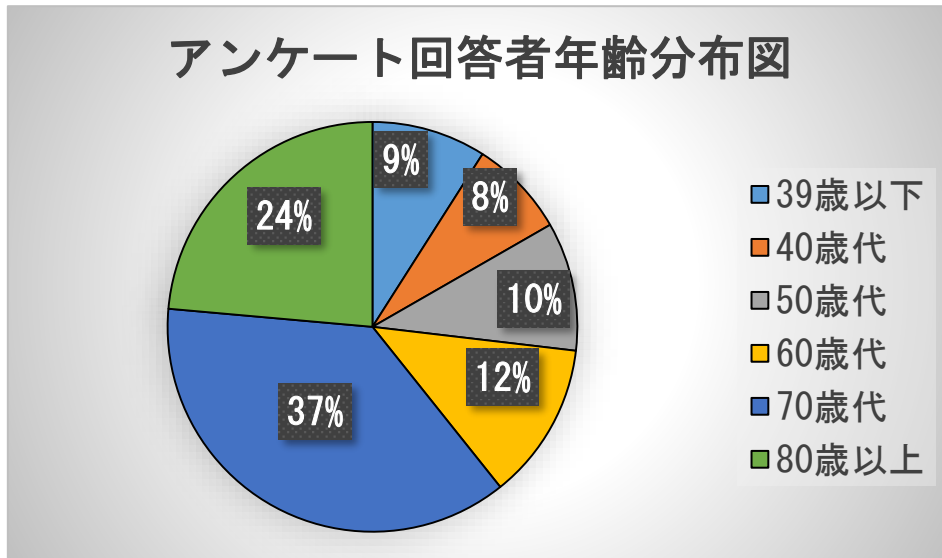
## 令和 4 年度生活安全の日アンケート回答結果

## 1 回答者男女比

男性 433名

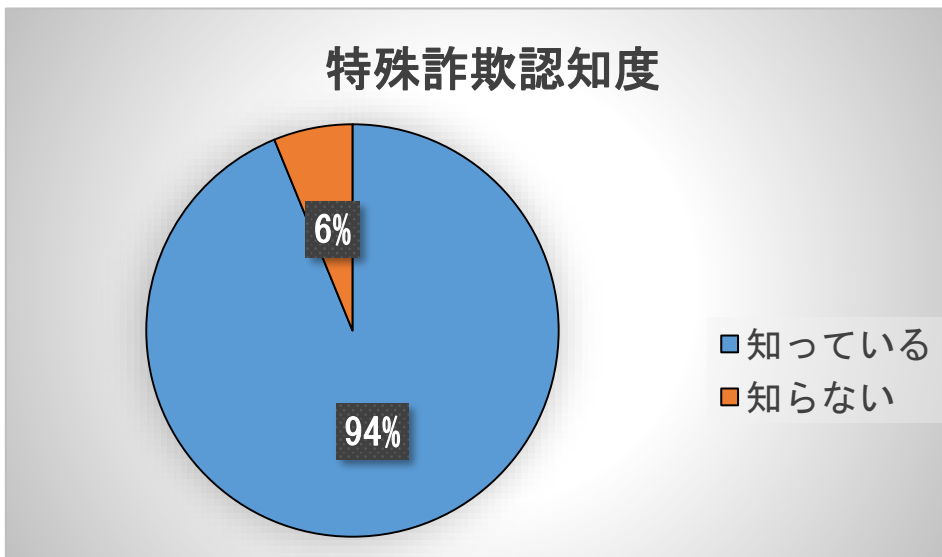
女性 443名

## 2 回答者年齢分布図



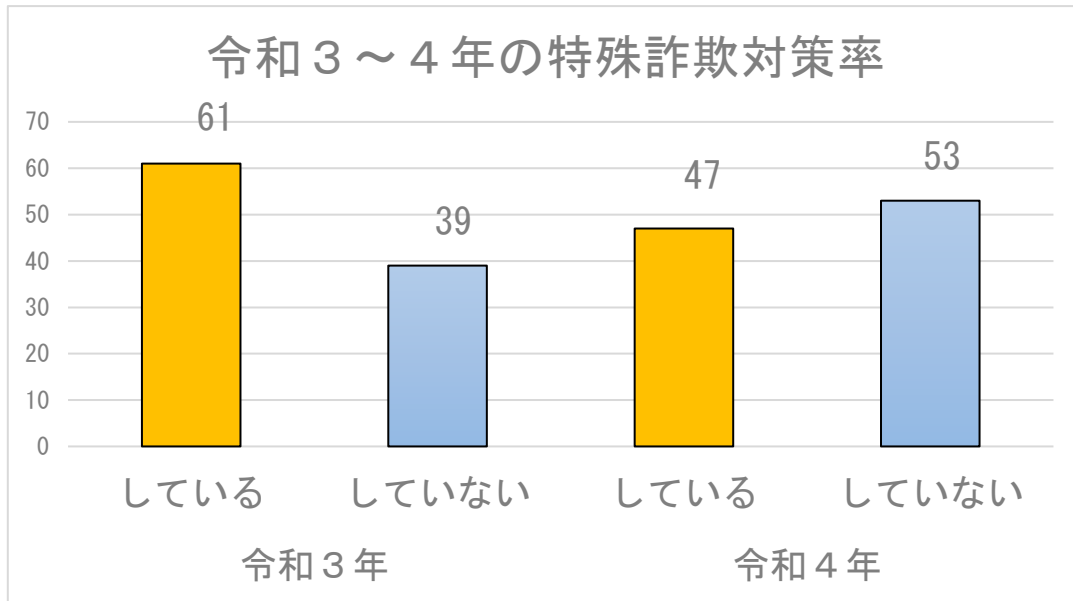
銭湯利用者は、幅広い年代が利用しているが、特に70歳以上が全体の61%を占めており、高齢者向けの対策を実施する場所としては、非常に向いていると思われる。

## 3 特殊詐欺認知度



特殊詐欺の認知度は、昨年実施した同アンケートと全く同じ数値となった。94%という高い認知度があるものの、手口がより巧妙化することにより、特殊詐欺という犯罪があることは、認識していても騙されてしまう事例が多く見受けられることから、手口等についても広報していく必要がある。

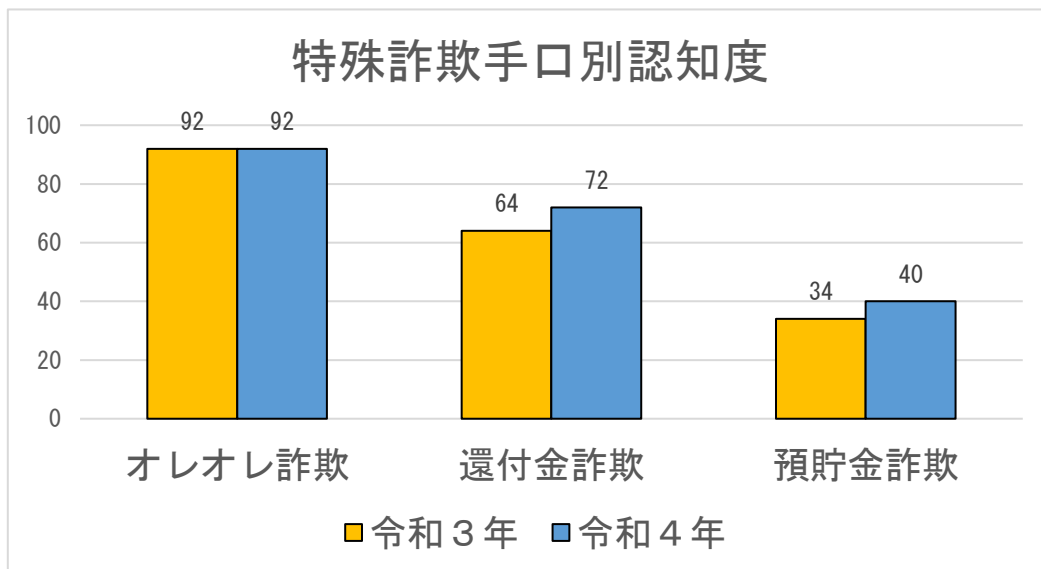
#### 4 詐欺対策率



昨年と比べ、特殊詐欺の認知度に変化は無かったが、特殊詐欺の対策をしているとの回答が昨年から14ポイント減少している。

区役所として、特殊詐欺対策の必要性を関係機関と協力して、更に広報啓発活動を実施していく必要がある。

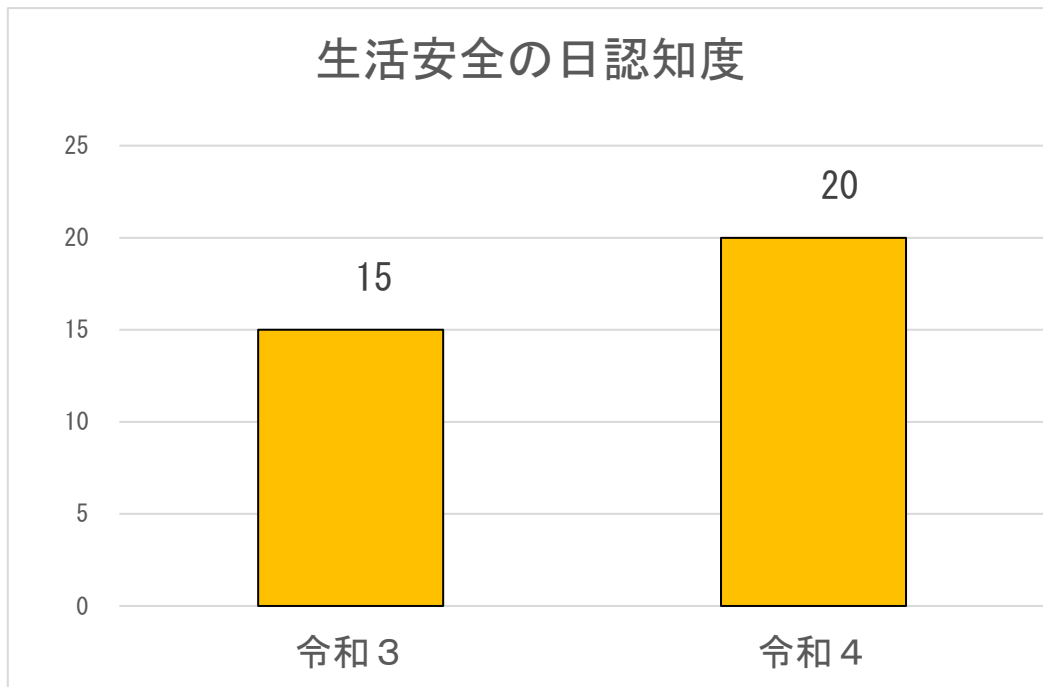
#### 5 特殊詐欺手口別認知度



オレオレ詐欺の認知度は、令和3年、令和4年とも92%と非常に高い数値である。

還付金詐欺は、64%から72%と認知度があがっている。預貯金詐欺は、34%から40%と認知度があがっているものの、未だに50%に届かない状況である。また、板橋区内でもっとも多い手口は、預貯金詐欺であるので、今後も普及に努める必要がある。

## 6 生活安全の日認知度



「板橋区生活安全の日」の認知度は、昨年よりは、広まりを見せているものの、20%と低い数字であったことから、今後も積極的に広報活動を継続する必要がある。